

# 1年生 国際交流講演会

## 夢をつかめ！自分の夢を実現しよう

### ～自転車世界一周の経験を通じて～

#### 講師：ミキハウス勤務 坂本 達 さん

2月3日(火)、6校時に自転車世界一周されたミキハウス勤務の坂本達さんによる国際交流講演会が行われました。今回の講演会は日本青年国際交流機構(IYEO)の東日本大震災支援活動の一環として行われています。



左右の道どちらに進みますか？と坂本さん

30分迷い、人が来るのを待ったが誰も来ない・・・仕方なく左に進路を進め1分後、左右の道が繋がっていることが判明！  
「考えすぎると人は前に進めない！」



左に行く人は手を挙げてください、で挙手する生徒



「夢は待っていてもやってこない！」  
「物の見方をかえる、無いを有ると捉える」  
「報道されていることは一部に過ぎない」

- 大事なことは
1. あいさつ
  2. ありがとう
  3. 自分の持ち味

世界一周を終えた坂本さんは旅で助けてくれた人たちに恩返しをするために、アフリカのギニアで井戸掘りプロジェクトを行い、またブータンでは幼稚園建設など感謝の気持ちを次の夢へのエネルギーとしておられています。



講演後、坂本さん、岩手県 IYEO の阿部さん(本校 06)に ESS の部活動にお越しいただきました

## 生徒の感想

坂本さんは子どもの頃にはいろいろ辛い経験をしてそれでも辛い日々を乗り越えて夢を実現させたというところが凄いなと思いました。私も高校に入って、へそ曲りな性格や素直に物事を受け入れられなかったり素の自分で友達と接することができないなど、自分の性格で悩むところがたくさんありました。しかし自分の持ち味についての話で物の見方をかえれば、自分にしかない良い所もあることで私も自分の嫌な所ではなく自分の持っている今あるものを見ていこうと思いました。また写真の二本の分かれ道の話聞いて、私もよく外国に行ってみたい、こんな仕事してみたい等、やってみたいことがたくさんあるのですが、いつも自分は英語が苦手だから、今の学力ではその仕事に就けない等、現実的なことを考えてしまい、あまり行動もせずに諦めてしまうことが多いので「待っていてもやっこないなら、自分でやってみる」という言葉を大事にして積極的に行動し夢を実現できるように頑張ろうと思いました。坂本さんが世界一周で病気にかかったことや、ある村で出された幼虫を食べるエピソードや挨拶をしたことがきっかけで助けてもらったことなど1つ1つのエピソードが意味のあることで、たくさん学ぶものがありました。私が一番心に残っているのは「いろいろな経験がギフトになる」という言葉で良い事があっても嫌な事があっても、そのことが後で自分にとって大切な経験になるということが分かりました。私もこれから大きな夢をもって夢に向かって頑張っていこうと思いました。私もいろいろなことを学ぶことができ世界一周をした気分になることができました。

今回の講話は「夢」についてでした。私たちくらいの年齢になると「夢が叶うのはほんの一握りだ」、「自分たちにはできない」などとマイナスに考えてしまいがちです。しかし、やってみなければわからないことが世の中にはたくさんあり、それを待っているだけでは何も始まらないということを改めて感じました。たとえ失敗したり、恥をかいたりしても、それを自分の次につなげる「ギフト」だと思って行動すれば何とかできると聞き、自信に繋がりました。何かでつまづいてしまった時でも見方や方法を変えて「ない」ところを見つけるのではなく「ある」ところを見つけると良い関係を築くことができると感じました。相手の悪いところを探すのではなく、良いところをたくさん見つけ今後の社会で上手に人と向き合っていきたいです。自分の短所だと思っているところもポジティブにとらえ自信につなげていきたいです。「あいさつ」「ありがとう」「自分の持ち味」が大切だということが分かり、これは人との縁をつなぎ、様々な分野の可能性を広げ、自分自身を持つことに関わると感じました。「周りが大事に思っていることは自分も大事に思う」ということを忘れずに夢に向かって行動していきたいです。もっと講話を聞きたいと思いました。本も読みたいです。

坂本さんの高校の時と同じで私には今、夢や目標がありません。子供の時はたくさんあったのですが、大人に近づくにつれて現実をみるようになり「現実的に考えたら夢を叶えるなんて難しいこと一握りの人しか叶えられないんだ」と思うようになりました。こんな私と同じ考えを持っていた坂本さんが今、夢を叶え、目標を持っている、と思うと「もしかしたら私も数年後には…」と考えをふくらませてしまいます。夢をつかむための第一歩として、「人や物事の「ない」ところではなく、「ある」を探す」ことが大切だと知りました。要は前向きに考えることが私には必要なのです。また、坂本さんは世界中の人たちに会っただけでなく、その人たちのためになることをして、また会いに行ったり、手紙を書いたりなど、恩を絶対に忘れない人だと知り感動しました。一度出会っただけでなくずっと関わっていく、坂本さんはとても素敵な方だと思います。それから最近ではイスラムのことが話題になっていますが、ニュースでやっていることはあくまで「1」であるということを教え、私の考えを180度変えてくれたのも坂本さんです。これからは「99」の方に目を向けていきたいです。「夢は待っていてもやっこない」このことを胸に私もやりたいことを見つけ、そして諦めるのではなく「やってみたらできた」ができるように、少しずついいから頑張る努力をします。今回の講話で本当に心を動かされました。ありがとうございます。

今回の講話は今までの講話の中で一番楽しくて、一番自分のためになった時間だったと思います。一番心に残った言葉は「考えすぎると動けない。行動してみて、間違ったらやり直せばいい」という考え方についてです。私は物事に挑戦する時に間違いや失敗を恐れて、結局何もできない時が多くあります。そして後悔します。それよりも失敗を前向きに捉えて、まずは行動するということが胸を打たれました。それから話を聞いて思ったことは日本は経済力もあってすごく豊かな国だけど、弱いということです。経済力がなくても十分な食料がないような国の人たちが圧倒的に心が強いと感じました。当たり前だと思っていることを、そういう人たちは当たり前だと思わずに、ないことを探すのではなく、あることを見つけるという考え方が衝撃的でした。私には昔から看護師になるという夢があります。ただひたすら勉強すればいいと思っていました。でもいろいろな経験をすることで夢に近づけると聞きました。待っているのではなく、自分からたくさんの方に挑戦して自分の夢を叶えられたらいいと思いました。そして親に感謝、周りの人に感謝することを忘れずに生活したいです。